

生徒への声かけ

1

指導のねらい

生徒への声かけを繰り返し、交通安全意識を高める。

学校生活の様々な場面で、生徒に対して自転車の交通事故の原因や、事故の起こりやすい場所、また交通ルールなどに関する内容を声かけし、生徒の交通安全意識を高める。

● **活動例** 安全指導（教室・校門・自転車置き場など）

● 指導の流れ

自転車の交通安全に関する声かけ（教師）

● 指導計画のポイント

- ・ 下校時や休日の前など、生徒が自転車に乗る状況を選び、繰り返し声かけられるよう、指導時期・場所を選定する。
- ・ 生徒が行う朝のあいさつ運動などにあわせて行うことで、生徒の交通安全に対する意識をより高めることができる。

● 事前準備

- ・ 自転車事故の実態を把握する。
- ・ 交通ルール、マナーを知っておく。

● 連携関係機関

警察署、市役所から交通事故や交通安全に関する資料などの情報提供を受ける。

【声かけ内容の例】

- ・ 車道の左端を通る
- ・ 歩道は歩行者優先
- ・ 並走、二人乗り、競走はしない
- ・ 乗ったまま傘さしや携帯電話等を使用しない。
- ・ 子どもやお年寄り、体の不自由な人のそばを通るときは降りるか、徐行する
- ・ 止まれの標識では絶対に一時停止する
- ・ 暗くなったらライトをつける
- ・ 信号は必ず守る
- ・ 交差点や踏切では安全確認をする
- ・ 後ろからの車などに注意して方向を変える
- ・ 道路でのななめ横断はしない
- ・ ○○町の交差点で事故があったから気をつける
- ・ 施錠（ツーロック）を徹底する